

春の火災予防運動

火災発生件数
令和7年中

253件
(速報値)

火災が多くなる時季を前に、春の火災予防運動を実施しています。この機会に、ご自宅の火災予防対策や注意するポイントを確認しましょう！

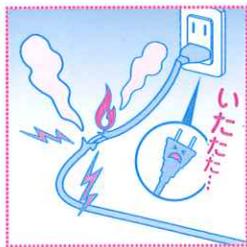
3/1日

3/7土

火災の主な発生原因

49件 電気配線関係

※電灯・電話等の配線、配線器具



事例

電源タップやコードが発熱し、発火した

火災をなくすためのポイント

- たこ足配線をしない
- 古いコードは使用しない(内部断裂の危険)
- コードは束ねて使用しない

30件 コンロ

事例

調理中に火を使っていることを忘れてしまった

火災をなくすためのポイント

- 調理中はその場から離れない
- 安全装置(Siセッパ)付きコンロの推奨
- コンロ周りを整理整頓・清掃する



29件 放火

事例

ごみ集積所に放置された段ボールに火をつけられた

火災をなくすためのポイント

- ごみは決められた曜日・時間に出す
- 家の周りに燃えやすい物を置かない
- 地域ぐるみでの対策を行う



25件 たばこ

事例

消したつもりのかたばこから出火

火災をなくすためのポイント

- 吸い殻は水に浸してからごみに出す
- 灰皿に吸い殻をためないで、こまめに捨てる



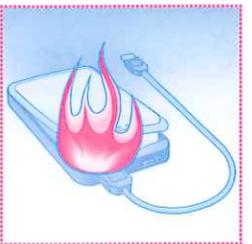
22件 電気機器

事例

リチウムイオンバッテリーから出火 **16件**

火災をなくすためのポイント

- PSEマーク付きの機器を使う
- 古くなった機器は使用しない
- 強い衝撃や圧力を与えない！



令和7年の火災による
死者数・負傷者数

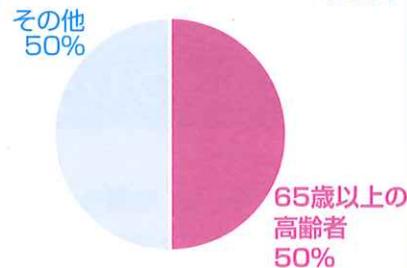
(令和7年)

住宅火災における高齢者(65歳以上)の
死者の割合(令和7年)

(速報値)

死者数 **10名**
(前年比+1名)

負傷者数 **47名**
(前年比-3名)



全国的に大規模な林野火災が発生しています。

※風が強い日は外で火を使用しないでください。

令和8年3月1日から運用開始!

林野火災注意報・警報

詳しくは
こちら!



住宅用防災機器の重要性について

～火災から命を守る三つの柱～

住宅火災の被害を防ぐためには、事前の備えが重要です。火災を知らせる住宅用火災警報器、初期消火に有効な住宅用消火器、そして地震の後に発生する電気火災を防ぐ感震ブレーカーについて再確認していきましょう。



伊達家伯記念会協力

1 火災を「早く発見する」 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声により火災の発生を知らせてくれる機器です。煙感知器と熱感知器（台所のみ設置可能）の2種類があります。

設置が必要な場所



※廊下に設置する場合があります。詳しくはQRコードにアクセスしてください。



維持管理

◎本体の寿命は約10年です

※内蔵の電気部品が劣化し、火災を感知しなくなってしまう恐れがありますので、「まるごと」交換を推奨しています。

2 火災を「小さいうちに消す」 住宅用消火器

住宅用消火器は、一般用住宅向けの初期消火用として設計された小型で軽量の消火器です。消火薬剤は粉末・強化液の両タイプがあり、適応火災がイラストで表示されています。

使用期間の終了年月は	20〇〇年 〇月です。
製造年	2026年
放射時間	約20秒
放射距離	3~6m
薬剤容(質)量	1(1.38kg)L



消火器についてのポイント

- 設置は玄関など、だれでも取り出せる場所に設置しましょう
- 点検は不要ですが使用期限があります。
- 火が天井に届く場合は、無理に消火せず、速やかに避難しましょう。

住宅用消火器はインテリアに馴染むデザインのものもあります

3 地震火災を「起こさない」 感震ブレーカー

感震ブレーカーは、地震後の電気火災、特に停電復旧時に発生する通電火災を防ぐうえで有効な機器です。

東日本大震災における火災の全111件のうち、約半数の58件が電気関係の出火でした。感震ブレーカーを設置して我が家から地震火災を防ぎましょう。



特に地震発生時に自宅を離れていた場合や、揺れが大きくブレーカーをご自身で操作する余裕がない場合でも、電気火災のリスクを抑えることが可能です。

住宅用防災機器、備える心が火災を防ぐ

仙台市消防局
☎234-1111

青葉消防署
☎234-1121

宮城野消防署
☎284-9211

若林消防署
☎282-0119

太白消防署
☎244-1119

泉消防署
☎373-0119

宮城消防署
☎392-8119

仙台防火委員会 (公社) 仙台市防災安全協会